

いぶき 第91号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<https://www.kagawah.johas.go.jp>

新年のご挨拶

香川労災病院 病院長 吉野 公博



皆さま 明けましておめでとうございます。
 令和6年が明けました。昨年、コロナ肺炎に係る感染症法の位置づけが2類相当から5類へと変更され、医療を取り巻く状況が変わることとなりましたが、依然、病院としてはその対応を大きく変えるものではありません。院内で感染患者さんが広がることは、いろいろな治療が行えなくなることにつながります。まだまだ

だ、ご不便をおかけ致しますが、地域の皆様のご理解を宜しくお願い致します。

昨年、香川労災病院が
 ん診療棟を建設して、新しい放射線治療装置を設置致しました。9月頃から本格的に稼働しました。前の治療装置に比べ、より正確でより良い治療計画を立てて治療することが出来ます。ご利用ください。

また、3階に設置している古くなった血管撮影装置を最新のフイリップス社製に更新致しました。この装置は、循環器内科で心筋梗塞や末梢の閉塞性血管障害の診断、治療を行ったり、脳神経外科では急性期脳卒中の治療で求められる、血栓回収療法や脳動脈瘤の

イル塞栓術、そして頸部内頸動脈狭窄に対するステント留置術など繊細な手技が求められる治療に非常に有用であると考えられます。今後、更なる急性期医療に力を発揮できるものであります。

そして、放射性同位元素を使った全身SPECT装置も更新となりました。最もよく行われる検査は、骨シンチです。これは、がんの患者さんで骨への転移を調べる検査で、当院はがん治療と急性期医療に力を入れています。がん治療には欠かせない検査です。これも新装置は、解像力が上がり、患者さんへのよりよい貢献が出来るものと考えております。

地域の皆様におかれましては、体調に気になることが起こった場合、まずは近くの先生のところで診て

香川労災病院の理念
 働く人々や地域の人々に
 安全で安心のよりよい
 医療と看護を提供します

ただき、必要であれば香川労災病院へ紹介していただくよう、お願い致します。予約も取れますので来院の際、何かと便利です。香川労災病院は、本年も地域の方々の健康を守るため、多くの方々と連携しながらがん治療と急性期医療に邁進していく所存です。今年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

地域の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年始のご挨拶と致します。



血管撮影装置の更新について

中央放射線部長 中川 誠

血管撮影装置はカテーテルと呼ばれる細い管を血管の中に入れてX線にて撮影することで、血管の形状を把握する造影検査や、異常な血管・部位をデバイスと呼ばれる器具で治療するためのX線装置です。インターベンション治療は一般的な外科手術と比較して侵襲性が低く患者様への負担が少ない治療として広がっています。

今回導入されたフィリップス社製Azurion 7B20/15は2つの異なるサイズを搭載したフラットパネル検出器バイプレーン式血管撮影装置で、脳神経外科領域を中心に心臓領域や下肢領域等全身領域のインターベンションを実施することが可能です。特に2つの検出器を搭載しているため、1回の造影撮影で2方向から同時に画像を得ることが可能

なり、患者様の負担を最小限に抑えます。さらに従来よりも4倍の性能を誇る最新型検出器により、通常の半分以上の被ばく線量で検査・治療が行えるようになったほか、頭部領域の細かな血管構造を瞬時に把握する3Dイメージング機能など、最新のガイダンスツールを搭載して、より安全で確実なインターベンション治療を提供します。



四季の植物

フシラズ(冬知らず)

キク科・カレンデュラ属

西4病棟看護師・高橋希巳江

地中海沿岸原産、キンセンカの一種で名前の通り耐寒性が高く、冬から春にかけて2cm程の黄色い花が次々と咲きます。花言葉は【乙女の美しい姿】など、11月7日、12月15日、1月12・29日、2月8・9日の誕生花です。

開催日	内容	講師
1月24日(水)	無理なく続けよう！ 運動療法のコツ	糖尿病看護特定認定 看護師 西原 環
2月28日(水)	今すぐはじめられる 「尿失禁トレーニング」	皮膚・排泄ケア特定認定 看護師 松永 希
3月27日(水)	いきいき「脳トレーニング」	認知症看護特定認定 看護師 吉川 明美

開催場所：2階 情報コーナー
時間：12時～12時15分
連絡先：地域連携室 0877-23-3111(代表)

フレイル予防教室についてお知らせ

糖尿病看護特定認定看護師 西原 環

フレイル(要介護の一手前の状態)は、バランスのよい食事・適度な運動・友人と話すなどの社会参加によって予防できます。寒い冬、特に運動をはじめめるのは大変だと思いかもありませんが、テレビを見ながら、掃除をしながら、通勤途中などちょっとした工夫で日常生活に運動を取り入れることができます。私たちと一緒にフレイル予防教室で楽しく運動をしましょう。

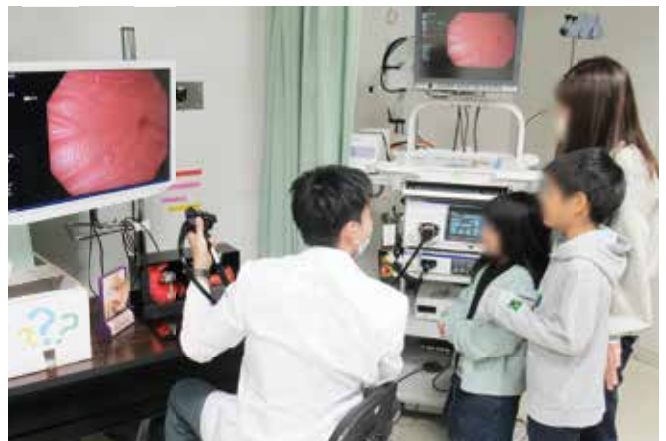
2023オープンホスピタル

副院長 影山 淳一

「香川労災病院オープンホスピタル2023」が10月29日に開催されました。2019年以来4年ぶりの開催でした。当日は少し風がありました。秋晴れで、第1回開催時から掲げている懸垂幕が風に揺れていました。香川労災病院オープンホスピタルは、普段は見る事ができない病院内の見学や体験をしていたら、香川労災病院をもっと身近に感じてもらおうと2017年から始めました。これまでのオープンホスピタルと同様、事務系スタッフが来場者の受付、案内を行い、手術室体験、内視鏡体験、助産師体験など医師、看護師の仕事体験や臨床検査技師、臨床放射線技師、薬剤師、臨床工学技士、中央リハビリテーションスタッフ、管理栄養士などが普段どんな仕事をして患者さんを助けて

いるのかを体験していただくことができました。それぞれのスタッフが楽しく仕事をしている姿をみて香川労災病院をより近くに感じていただけたと思います。今後もオープンホスピタルを通して香川労災病院の魅力をもっと知っていただくよう取り組んでまいります。

2023オープンホスピタル



連載 ①

中津万象園を未来につなぐ

公益財団法人中津万象園保勝会 評議員 真鍋 有紀子

①文化財を守るとはどのようなことか
 —「壊すのではなく残す」という選択を繰り返して、守るために行動すること—

『中津万象園』というお庭を知っていますか？

「行ったこと、あるよ！」

という声が聞こえてきそうですが、ご存知の通り、中津万象園とは京極藩別邸、丸亀市指定名勝でもある池泉回遊式の大名庭園です。

1688年の築庭とされておられ、そこから数えれば335年が経過しました。一般公開から約40年、運営は公益財団法人中津万象園保勝会によって行われていますが、自立は難しく、民



間企業からの資金援助によって維持保全がなされています。

課題は山積みですが、民間だからこそできること、皆様にお伝えできることもあります。今回、このお庭について4回にわたり紹介する機会をいただきましたので、①文化財を守るとはどのようなことか、②江戸時代以降の経緯、③地域との係わり、④これからの未来の予定で、様々な課題も含め、書いてみたいと思います。

○文化財を守るとはどのようなことか

丸亀市にある多くの文化財(地域の宝物)。でも、なぜ、これらが現在にまで残ったのでしょうか。

それは、官・民間の所有を問わず、誰かが「壊さない」という決断をし、価値



を見出し、守るための行動をしたからです。明治維新後、廃城令によりお城が次々と競売にかけられ姿を変えました。丸亀城の亀山公園も、国から払下のあつ

た大正15年に地元出身の実業家である武村氏からの寄附が無ければ、今の姿では残らなかったかもしれせん。

産業構造やモビリティの変化、人口や世帯数の変遷によりスクラップアンドビルドが進んでいく中で、「伝

続や文化を守りたい」「先祖の想いを残したい」という所有者の意思や、何らかの理由により壊されなかつたものが、後世に引き継がれ、価値を認められ、守られていく。様々な時代の事

物について、「壊すのではなく残す」という選択を繰り返してきた誰かの存在があったから、今皆様の目に映るまちの姿があり、そこには多くの先人の想いや物語が込められている。—そう考えると、運命の不思議さに驚いてしまいます。

○中津万象園の場合

中津万象園の場合も、明治半ば以降延10回以上所有者が変わっています。しかし、いずれの所有者も、ここを宅地や工業用地として開発せず、「守る」ことを選びました。「なんて運のいい、愛されてきた場所な

んだらう！」と感じませんか？

では、庭園を守るとは、具体的にはどんなことを指すのでしょうか。例を挙げれば、〈日常の維持管理〉、〈強剪定、大規模修景等非日常管理〉、〈調査と価値の再発見〉、〈時代に合った保全活用と経済的基盤の整備〉ということとなります。

庭園は生物である木や自然物で構成されているため、手入れを止めることはできません。樹齢数百年という



老木を健やかに保つには、長年専属でお庭を見守ってきた庭師の存在が欠かせず、樹木が成長しすぎたり大規模な修繕が必要となれば、有識者の指導の下適切な対応を行っていきます。決して華やかではありませんが、文化財の庭園を守るとは、とりもなおさずそういうことです。

しかし、それには莫大な費用を要することから、ここ数年だけでも少なくとも国指定名勝1、県指定名勝1カ所が、所有者は力尽き、県市からは「税金で保護できない」と判断され、指定解除、解体撤去となっています。今、私たちは、先人から



この『中津万象園』というバトンを受け取っています。地域から愛される、美しい姿で後世に引き継ぎたいと願っています。野となれ山となれという諺にもあるとおり、日本の風土であれば放置されれば「野に還る」のは空き家も同じで、もしかすると、少

真鍋有紀子氏プロフィール



富士建設(株)代表取締役、公益財団法人中津万象園保勝会評議員。中津万象園の価値や歴史、維持保全活動の意義について皆様にお伝えすることで、この場所がより地域に愛されるようになればと願っています。



子高齢化、経済の縮小という未来、まちそのものをいかに維持するかが問われる厳しい時代となるのかもしれない。そんな中であれば、「大名庭園って、地域に必要ですか？」を真剣に考えねばならないタイミミングにあるとも言えます。

それでも、文化財を守ることは、『壊すのではなく残す』という選択をし、価値を見出し、守り引き継ぐ意思をもって、誰かが行動することです。今回は、そんな選択をしてきた先人たちの歴史、江戸時代以降の経緯について、ご紹介させていただきます。と思います。

クリスマスコンサートを開催しました

令和5年12月5日に当院1階外来ロビーにて、4年ぶりにクリスマスコンサートを開催しました。今回は、カンタービレギターマンドリンアンサンブルの皆様による素敵な演奏を披露していただきました。たくさんの方々に越えいただき、ありがとうございました。



お知らせ

会場：香川労災病院がん診療棟2階、オンライン(Zoom)

予定内容等が変更となる場合があります。当院ホームページを事前にご確認ください。

がんサロン

- 日時 令和6年1月24日(水) 13時30分～14時30分
- テーマ 「一緒に歌おう！～音楽療法～」
- 講師 音楽療法士 三崎めぐみ
- 日時 令和6年2月14日(水) 13時30分～14時30分
- テーマ 「治療中のスキンケアと爪のお手入れについて」
- 講師 がん化学療法看護認定看護師 坂本路代
- 日時 令和6年2月28日(水) 13時30分～14時30分
- テーマ 「がんトリハビリテーション」
- 講師 作業療法士 近藤大輔
- 日時 令和6年3月27日(水) 13時30分～14時30分
- テーマ 「療養中の生活を支える社会制度・社会資源」
- 講師 医療ソーシャルワーカー 松永晴美

早期離床リハビリテーションへの取り組み
中央リハビリテーション部長 近藤 大輔

手術および心不全・呼吸不全などで注意深い管理が必要となった場合、集中治療室での治療を余儀なくされます。そのような重篤な状況においても、早い段階から離床・リハビリを行うことで、人工呼吸器からの早期離脱、筋力低下の予防、せん妄などの精神障害の予防・緩和、退院後の日常生活活動や生活の質の向上などの効果が期待できます。

中央リハビリテーション部では2019年より集中治療室(ICU・HCU)において早期離床リハビリテーションチームでの活動を実施しております。早期離床・リハビリテーションチームでは、集中治療室に入室した患者さんに対して、入室後48時間以内に医師・看護師などとカンファレンスを行い、早期離床・リハビリテーションを計画的に実施しております。昨年度は1,000件以上の実績を有しており、患者さんが一日でも早く退院できるように引き続き支援していきたいと考えております。

手術および心不全・呼吸不全などで注意深い管理が必要となった場合、集中治療室での治療を余儀なくされます。そのような重篤な状況においても、早い段階から離床・リハビリを行うことで、人工呼吸器からの早期離脱、筋力低下の予防、せん妄などの精神障害の予防・緩和、退院後の日常生活活動や生活の質の向上などの効果が期待できます。



新任医師紹介



内科医師
あさのなるみ
浅野 成美

2024年1月に入職しました浅野成美と申します。臓器を限定せず、内科疾患を広く診療対象としています。頻度の高い疾患に加え、診断に難渋する症状の診断方法についても日々勉強しています。どこの診療科を受診すれば良いのかわからない時にもお力になれるかもしれません。日常の健康不安や体調不良についてお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いたします。



研修医
ふじさきしゅう
藤崎 匠

11月から香川労災病院で研修させていただきます。研修医の藤崎匠と申します。

出身は鹿児島県で、福岡県の産業医科大学を卒業しました。卒後は岡山大学病院と福山市民病院で研修してまいりました。香川県には初めて住むことになりましたが、過ごしやすく、うどんも美味しくて週末はうどん屋巡りを楽しんでおります。患者さんの治療のお力になれるよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



研修医
かわにし
川西 隆史

12月から香川労災病院で研修させていただきます。研修医2年目の川西隆史です。

観音寺市出身で丸亀高等学校を卒業後、香川大学医学部に入学しました。大学卒業後は大学附属病院やさぬき市民病院で研修を重ねておりました。まだまだ未熟ではありますが、学生時代から慣れ親しんでいた丸亀に少しでも恩返しできるように尽力していきます。どうぞよろしくお願いたします。

編集だより

患者サービス向上委員
平井 有美

寒の入りとともに寒さが厳しくなってきました。お正月はどのようなに過ごされましたか？ 今回から中津万象園保勝会真鍋有紀子さんの連載が始まりました。お忙しい中、引き受けてくださり、ありがとうございます。楽しみにしております。

コロナが5類となり、当院でもイベントなどが開催できるようになりました。広報誌「いぶき」ではこれからも当院の取り組みなどをお届けしていきます。ご意見、ご感想などがありましたらお気軽にお寄せください。

